

事務局だより

第18回 みえの農村風景 写真コンテスト 受賞作品

みえの農村にスポットをあてた写真を募集して、農業・農村に対する関心を高めていただき、さらに広報冊子、その他の広報資料にこの写真を活用する事を目的とした写真コンテストを実施しました。

48点の力作が寄せられ、令和4年2月15日に6名の審査委員による厳正な審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞2点、特別賞4点、伊勢新聞社賞1点が選ばれました。

最優秀賞

「豊作の稲刈る笑顔」(志摩市磯部町) 井田金久



稲刈りの作業中に見せるおばあさんの満面の笑み。真心を込めて丁寧に稲を育ててきたからこそ、収穫時の喜びもひとしおなのでしょう。背景で黄金色に実る立派な稲穂がおばあさんの素敵な笑顔より輝かせています。

特別賞

「はざ掛けの日」(津市美杉町) 加藤和弘



晴天の下ではざかけの作業をする夫婦。あえて二人の顔を移さず、真剣に作業に取り組む様子を撮影していて、職人らしさを感じられます。線路に対して斜めから撮影することで電車が走る姿に勢いが感じられます。

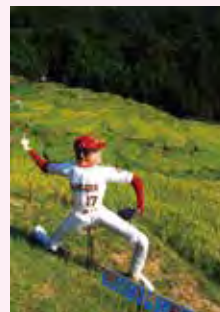
「田んぼアート」(四日市市楠町) 伊藤孝司

田んぼアート見学会の様子を撮影した1枚のようです。ドローンで撮影したのでしょうか？田んぼアートだけでなく、普段なかなかみることができない高所作業者に乗って見学する人たちの様子もうかがい知ることができ、大変興味深い一枚になっています。



「千枚田のMVP!」(熊野市紀和町) 山崎るみ

普段テレビで見るエンゼルススタジアムではなく、丸山千枚田をバックに投球する大谷選手の案山子。ダイナミックなフォームは千枚田の傾斜でより躍動感が出ています。大谷選手が案山子ではカラスなど田畑を荒らすことができないでしょう。



「満面の笑顔」(度会郡玉城町) 山口一明

満開のヒマワリに囲まれることで、少年の笑顔もより引き立っています。あえてハイアングルで撮影することでヒマワリの花の中に少年の笑顔を入れることに成功。構図のうまさが出ている1枚です。



優秀賞

「手伝って・!!」(志摩市) 浜口正雄

布を頭に巻き、農作業でやる気満々のお母さんとは対照的に、普段着の女の子の表情に、お母さんはつい本音が出てしまったのかもしれませんが。親子の仲の良さが垣間見える1枚です。



「夫婦の背中」(度会郡玉城町) 板谷一行



農作業休憩時の一コマなのでしょう。ほぼ間隔なく座る二人の距離感が仲の良さや互いを信頼していることを表しています。きっと何十回とシーズンを重ねたであろう田んぼの前で映る二人の背中にはノスタルジーを醸し出しています。

伊勢新聞社賞

「どこでもドア」(志摩市磯部町) 山本幸平

畑一面に咲く満開のひまわりと緑一杯の森、そして青空。日光に照らされることでイエローのひまわりの花びらがより輝いています。自然の恵みに満たされる中でも、どこでもドアがどうしても気になる子供たちの表情にユーモアがあります。

